

# 山形県の最低賃金、 7円引き上げ654円に！

今年の山形県の地域別最低賃金は、7円引き上げの654円となりました。青森、秋田、山形の東北3県は、引き上げ額、改正金額ともに並び、同じDランクにおける引き上げ額は、7円で決定した県が多くあり、横並びの状況が見受けられます。

地域別最低賃金を審議する専門部会において、労働者側としては、①生活できる最低賃金であるべきとの視点で、2010年に交わされた雇用戦略対話の「早期に800円」への道筋をつける議論をしていきたい、②非正規労働者の増加とそれに伴う低賃金層が拡大し、非正規労働者が家計の大黒柱という家庭が増加し、家計の補完的役割ではなくなってきており、生活できる水準としての最低賃金を早急に確立することが不可欠、③山形県の最近の経済指標は回復傾向であり、有効求人倍率、新規求人倍率も全国を上回る状況である、④連合が積算したリビングウェイジ(単身者の最低生計費をクリアする賃金水準)の最低生計費と比較すると、賃金はまだまだ低い状況にあるなどの理由から、大幅な最低賃金の引き上げを行うべきとして、山形県のリビングウェイジの最低生計費と現行の最賃との差額を期間で割り、25円の引き上げを主張しました。

一方、使用者側委員からは、①雇用戦略対話での合意事項は、経済成長率の前提があつての話である、②経済状況は回復傾向にあるが、山形県はスローダウンしており、先行きは不透明である。県内では大量リストラ等の話もあり、不安感がある、③先行きの見えない状況の中で、中小・零細企業が多い製造業のことや、雇用への影響を考慮して審議すべきである、④経営実態を表す賃金改定状況調査第4表の賃金上昇率は、Dランクはプラス0.3%と微増であるが、GDP成長率はマイナス2%であり、最賃を引き上げる状況にない、⑤法令で定める賃金決定の三要素に則った改定をすべきであるなどの理由から、最低賃金を引き上げる要素はなくゼロとしたいが、県民のモチベーションを考慮して1円の引き上げを主張するとなりました。

5回の専門部会を経ても労使の意見に隔たりが多かったため、公益委員が、全国の審議状況では目安額以上の結審が多いことや東北各県の結審状況から「引き上げ額を7円とするのが妥当」との見解を提示。採決の結果、審議会では、公益側、労働者側委員賛成、使用者側委員全員反対の賛成多数で決定されました。7円引き上げ654円にすることとし、山形労働局長に対し答申されました。2012年10月24日発効です。



## 連合山形 第25回年次大会の開催

とき 2012年11月8日(木) 10時30分開会 ところ 大手門パルズ 3F

## 2012連合「平和行動 in ヒロシマ」

核兵器廃絶2012平和ヒロシマ大会が8月4日（土）～6日（月）間で開催され、連合山形より13名が参加しました。1日目の8月4日（土）は、広島県立総合体育館において「核兵器廃絶2012平和ヒロシマ集会」が開催され、多くの組合員により折られた「折り鶴」を献納しました。2日目の8月5日（日）は、広島県民文化センターにおいて「2015NPT再検討会議へ向けた核兵器廃絶の課題」と題したシンポジウムに参加後、原爆ドーム・平和公園モニュメントをピースウォークしました。最終日の8月6日（月）は、広島平和祈念公園において「平和祈念式典」に参加し、核兵器廃絶と恒久平和を祈念しました。

8月4日から6日まで連合平和行動in広島に参加させていただきました。

3日間を通して、たくさん経験をさせていただきました。印象に残ったのが、1日目に行われた、平和ヒロシマ大会での被爆者からのお話でした。実際に、原爆が投下された当時の体験や、被爆の後遺症に悩まされながらも平和活動を行ってきたとのことでした。原爆が投下されて67年経つ今、このような体験を語り平和を訴える方々が年々減っている中、原爆を体験していない私達の世代もこの思いを引き継いでいかなければならないと感じました。また、私も僅かですが協力させていただき、連合山形の想いが込められた折鶴を、献納させていただきました。



ピースウォークでは、連合広島の方々から平和公園等を周りながら慰霊碑や記念碑の説明をしていただきました。特に、被爆しても元気に育っている「アオギリの木」等、個人で旅行に来ていれば知らずにいただろう物語を聞くことができよかったです。またこのアオギリのうたもあり、幼稚園でも歌われているとお聞きし、広島の方々の平和に対する意識の高さを実感しました。

最終日8月6日の平和祈念式典に（横からですが）参加できたことは良い経験となりました。改めて原爆の恐怖を知り、一方で今の和な生活がかげがえのないものであるのだと考えさせられました。この経験を今後の生活にも活かしていきたいと思います。

（東北パイオニア労働組合 後藤 知子）

## 平和行動 in 長崎

2012平和ナガサキ大会は、8月7日（火）～9日（木）に開催され、連合山形を代表し館内副事務局長が参加しました。

1日目の8月7日（火）は、長崎県立総合体育館において「核兵器廃絶2012平和ナガサキ集会」に参加しました。2日目の8月8日（水）は、長崎平和公園・原爆落下中心地公園での「ピースウォーク」と、原爆資料館大ホールでの「2012平和シンポジウムin長崎」に参加しました。最終日の8月9日（木）は、長崎平和祈念公園での「原爆犠牲者慰霊平和記念式典」に参加し、核兵器廃絶と「願う」平和から「叶える」平和を祈念しました。

今回はじめて平和行動に参加させていただきました。7日に行われた2012平和ナガサキ大会では、被爆者である方からの訴えがあり、本人は原爆投下地点から3km離れた地下工場にいたおかげで大きな怪我はありませんでしたが、700mしかはなれていない自宅で、母親と弟が黒焦げの状態で亡くなり、その駆けつけた当時の地獄のような光景が話されました。その後の、ピースウォークや原爆資料館の見学では、原爆による熱線、熱風、放射線の威力とその被害の大きさを知り、改めて戦争の愚かさや核兵器さえないと悔しい思いに駆られました。

長崎へ投下された原爆では、7万4千人の命が一瞬にして奪われ、今もお後遺症で苦しむ人が多くありますが、未だ核兵器は世界の脅威となっています。原爆投下された唯一の国である日本が、そして私たちが、二度と同じ過ちを起こさないよう、今後も連合の「平和行動」などを通じ「核兵器廃絶」と「世界平和」を訴えていかなければならないと強く感じました。

最後に、厳しい暑さの中、大会の企画運営にご尽力いただいた連合広島・連合長崎の皆様にご敬意と感謝を申し上げます。

（連合山形 館内 悟）



## 2012平和行動 in 根室

この度、北海道根室市で開催された9月8日の北方四島学習会と9月9日の2012平和ノサップ集会上に、連合山形派遣団の一員として参加させて頂きました。

北方四島学習会では、5つのセミナーから1つ選択し前半と後半の2回受講するというスタイルでした。会場の北方四島交流センターにはロシアや北方四島を知ることができる展示物などが数多くあり、受講までの時間、パソコンでロシアに纏わるクイズを体験したり、パネル展示場をめぐりました。最初の受講ではロシアの食文化を実感したいと思い、ロシア料理家による、「ペリニア」というロシア風水餃子を調理実習という形で体験しました。後半の講義は北方領土の現状と問題点という内容で受講しました。北方領土の歴史や不法占拠された経緯、元住居者の現状などさまざまな視点から説明して頂き、知ることができました。心に残った言葉の一つに「北方領土の間には見えない厚い壁がある」ということをあげていました。たった数キロ先にわが国の領土があるにも関わらず、命がけで漁に出なければならない現状などを知り、大変やりきれない思いでした。

翌日の2012平和ノサップ集会上では主催者や来賓の挨拶、元島民の訴えなどを通じて今おかれている現状などを知ることができました。集会当日は、会場が濃霧で覆われ我が国の領土を見ることはできませんでした。

今回の平和行動で学んだことは数多く、今後もさまざまな取り組みには率先して参加して、平和に暮らせる未来へとつなげていきたいと思えます。

(マーレエンジンコンポーネントジャパン鶴岡労働組合 尾形 尚也)



## 2012「青年交流集会」を開催

9月7日(金)～8日(土)の日程で、「鳥海高原家族旅行村」を会場に、県内各地の青年・女性労働者の参加者による、2012「青年交流集会」を開催しました。

この交流集会上は、各職場の現状の意見交換を行い、親睦を深めることを目的として各地域を持ち回りで、実行委員会形式で開催し、今年は酒田飽海地域で開催しました。

1日目は、分散会形式での情報交換会、2日目には、体験学習(遊佐町「西浜海岸」での「地引網」)で交流を深めました。



会議・宴会には

JR山形駅から徒歩約12分・安い!会議室利用料  
各種宴会ご予約承り中

# 大手門パルズが便利です

■お申込み・ご相談は  
電話023-624-8600/FAX023-631-3143

■ホームページもご覧ください  
<http://www.otemon-pals.jp>



パーティー・宴会・集会・レストラン

**大手門パルズ**

(社)山形県勤労者福祉センター  
〒990-0044 山形市木の実町12番37号

# 連合山形「活動家養成講座」を開催

## 次代を担うリーダーを養成

連合山形は、「労働組合運動の今後の方向について理解を深め、また、組合活動の実践に役立つ知識を得ることによって、連合、組合活動強化に結びつける。各構成組織間の情報の交換や交流により、幅広い視野を持ち、企画実践に向けた力を養った人材を育成する。」ことを目的とし、2006年より、連合山形と（社）山形県経済社会研究所（連合山形総研）主催で、「活動家養成講座」を開催してきました。今年度は、14名の受講者で、労働に関わる法律や組織化、組合のあり方などの学習をしました。

講座のスケジュールは次のとおりです。



講座日	時間	講義内容
8/25(土)	10:30~12:00	労働運動の歴史から見た労使関係 日本女子大学名誉教授 高木 郁朗
	13:00~14:20	労働時間・休日、賃金 — 働くルール 特定社会保険労務士 若木 義寛
	14:30~15:50	職場から始めよう運動 — すべての働く者のために 連合非正規労働センター次長 村上 陽子
8/29(水)	18:00~19:30 公開講座	職場のメンタルヘルス入門 東谷メンタルヘルス研究所所長 東谷 慶昭
9/1(土)	10:40~12:00	退職・解雇に関する問題を考える 連合山形副事務局長 高橋 朗
	13:00~14:20	正社員・非正社員の処遇格差 山形大学人文学部准教授 阿部 未央
	14:30~15:50	グループディスカッション「魅力ある労働組合にするには」 日本女子大学名誉教授 高木 郁朗

## 「職場のメンタルヘルス入門」公開講座を開催

活動家養成講座の第2日目として、一般の方も参加していただく公開講座が開催されました。

講師は、精神科医で、東谷メンタルヘルス研究所所長の東谷慶昭さん。最近、うつ病をはじめとしたメンタルな病気により、休職している仲間が多くなっていることから、労働組合としてもその対策が求められています。今回は、その入門編としてわかりやすく講義していただきました。

講演終了後も、質問をされている方がおりました。とても身近な問題になりました。



## 連合新庄最上地協が、 震災被災地支援 ボランティア



連合山形新庄最上地域協議会（渡邊裕一議長）は、9月8、9日の2日間、宮城県東松島市宮古島にて震災被災地の支援ボランティアを行いました。

宮古島は、橋が流されたために支援物資の到着がかなり遅れ、島民同士が助け合いながら窮地をしのいだそうです。現在も、多くの方々が仮設住宅で不便な生活を強いられており、住宅の高台移転は早くても4年後になるとのことでした。

ボランティアには、新庄市職労、県教組、JR東労組、JR連合、情報労連から8名が参加し、奥松島月浜海苔生産グループ「月光プロジェクト」さんの海苔養殖のお手伝いをしました。10月からはじまる海苔養殖の下準備として、海中に埋めるポールにロープを繋ぐ作業でしたが、慣れないロープワークに、皆、真剣に黙々と作業しておりました。参加者からは、「大変な被害を受けてもなお立ち上がる人たちから、逆に元気を分けてもらった」と感想がありました。今後も、継続した取り組みを行いたいとのことでした。

## 「反貧困全国キャラバン」-街頭でアピール

山形県労働者福祉協議会（大泉敏男理事長）は、7月31日に山形市七日町で「反貧困全国キャラバン」の街頭宣伝行動を行い、チラシ配布と署名活動を行いました。

反・貧困全国キャラバン2012（主催：反貧困全国キャラバン2012実行委員会、呼びかけ団体：中央労福協など）は、『人間らしい生活と労働の保障を求めて、つながろう！』をテーマに、2台のキャラバンカーが東日本ルート・西日本ルートに分かれ全国47都道府県を巡回し10月20日に東京に集結します。

36℃を超える猛暑の中、連合山形をはじめ加盟団体から15名が参加し、反貧困を訴えました。「生活保護の安易・拙速な改悪を絶対に許さない請願署名」（集約団体：全国青年司法書士協議会）には、多くの市民が署名に協力され、特に若い方の関心が強かったようです。



(公財)山形県勤労者育成教育基金協会 利子補給制度対象商品

応援します  
未来の主役たち



# 10/1より金利引下げ ふるさと奨学ローン

【お取扱い期間】  
2012年10月1日～2013年3月末日  
期間中にお申込みを受け、2013年3月末日までに実行するご融資が対象となります。

ふるさと奨学ローン《仕送りサポート返済》ご利用時の適用金利 (2012年10月1日現在)

特約期間中 (最長6年間 保証料込)		特約期間終了後 ※( )内のご融資期間は、特約期間を含みます	
特別金利	団体会員の方 年 <b>2.00%</b>	固定金利5年 (保証料込)	ご融資期間 5年以内
	団体会員以外の方 年 <b>2.50%</b>	固定金利7年 (保証料込)	ご融資期間 5年超7年以内
		固定金利10年 (保証料込)	ご融資期間 7年超10年以内
		団体会員の方	団体会員以外の方
		年 <b>2.50%</b>	年 <b>3.00%</b>
		団体会員の方	団体会員以外の方
		年 <b>2.85%</b>	年 <b>3.35%</b>
		団体会員の方	団体会員以外の方
		年 <b>3.15%</b>	年 <b>3.65%</b>

《仕送りサポート返済》とは  
特約期間中(在学期間のうち、最長6年間)は「特別金利」と「最小限のご返済額」でご返済いただくプランです。  
「団体会員の方」とは  
東北労働金庫に投資している次の団体に所属されている構成員の方です。①労働組合 ②国家公務員・地方公務員等の団体 ③勤労者のための福利共済活動を目的とする団体で、勤務する事業体の事業年数が3年以上経過しているなど一定の条件を満たす団体(同一企業の団体に限ります)

※期間中、大幅な金利変動により適用金利を見直す場合があります。

## 商品概要

ご融資金額 最高**1,000万円**    ご融資期間 最長**10年**(固定金利)    ※特約期間(在学期間のうち、最長6年間)のご返済期間を含みます。

- ご利用いただける方 ... ①山形県内に原則として1年以上居住または勤務されている方  
②原則20歳以上、勤続年数1年以上、前年の税込み年収が150万円以上の方    ③当金庫の審査基準を満たされる方
- お使いみち ..... 入学金や授業料、仕送りなど、ご本人やご親族の方の教育費用
- ご返済方法 ..... 毎月、または毎月・ボーナス併用の元利均等返済。仕送りサポート返済ご利用の場合は、段階金利方式による毎月、または毎月・ボーナス併用の元利均等返済となります。(原則としてボーナス返済部分はご融資額の50%以内です)    ※特約期間中は特別金利が適用となり、ご返済額はご融資金額に応じた当金庫が定めるご返済額となります。    ※ご融資期間中、ご返済額の変更や金利タイプの変更はできません。
- 担保・保証 ..... 担保は不要です。当金庫指定の保証機関をご利用いただけます。

※店頭でご希望にあわせたご返済額の試算をいたします。    ※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
※《仕送りサポート返済》の特約を利用しないプランもご用意しております。    ※店頭にて説明書をご用意しております。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

## 【利子補給制度】

(公益財団法人山形県勤労者育成教育基金協会)

本ローンの対象のご本人・ご親族が卒業後山形県内に就職または就業した場合は、それ以降の利子に対して元金200万円を限度に、年1.0%の利子相当分が公益財団法人山形県勤労者育成教育基金協会より補給されます。

2012年10月1日現在

詳しくははお近くのろうきん窓口、  
またはフリーダイヤルまでどうぞ。

東北労働金庫山形県本部

0120-1919-62  
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

ZENROSAI NEWS  
0612B012



いつ起きても  
おかしくない  
火災や自然災害から  
暮らしを守ります。

火災、自然災害、盗難までワイドな保障

自然災害保障付  
火災共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

**全労済**

全国労働者共済生活協同組合連合会

「協同組合が  
よりよい社会を築きます」

"Co-operative enterprises build a better world"

※2010年11月にニューヨークの国連本部で、上記のIYCスローガン(英語)が決まりました。  
(IYCとは、国際協同組合年の略称です)



2012  
国際協同組合年

**全労済山形県本部**  
(山形県勤労者共済生活協同組合)

電話番号 023-646-4666  
所在地 山形市城南町1-18-22